

えきびょう 疫病

病原菌名 *Phytophthora infestans*

発生条件

20℃前後、多湿条件で発生しやすく、急激に発病が進む。露地栽培では、梅雨期または秋雨期に降雨日数が多いときに発生しやすい。窒素肥料を過用すると、茎葉が軟弱となり発病を助長する。



葉の発病

葉では健全部との境が不明瞭な灰色水浸状病斑が形成される。



茎の発病

茎は暗褐色水浸状の病斑を生じ、のちにややくぼむ。傷のある部分に発病しやすく、病斑が茎を一周すると、その部分から折れやすくなる。

果実では灰褐色のややくぼんだ病斑が形成され、多湿条件で白色綿状のカビが発生する。